

# 「個人山行報告書」

【2016年7月30～8月6日】 参加者：津田廣一、竹内幹雄

山城：上越・尾瀬・東北

山名：巻機山、八海山、魚沼駒ヶ岳、平ヶ岳、帝釈山、会津駒ヶ岳、燧ヶ岳

山行目的：上越の名山を登る

7/30 (土) 快晴 「巻機山」

【ルート】：桜坂P→巻機山 (井戸尾根コースピストン)

【行動】5:00 登山口→5:55 5合目→7:08 7合目→8:07 9合目→8:10 避難小屋  
→8:40 巻機山頂 (1967m) →9:50 下山開始→10:11 避難小屋→10:22 9合目  
→10:55 6合目→11:47 5合目→12:40 登山口

前夜に家を出発、上信越自動車道の豊田飯山ICで降り「道の駅」で仮眠、早朝出発で巻機山登山口に向かう。登山口の駐車場に到着後準備をして出発。樹林の中を進み5合目で一本取る。さらに進むとブナ林に囲まれた樹林帯だ。さらに進んで7合目まで登ると視界も広がり「前巻機」(ニセ巻機)が見えてくる。ここからは気持ちよく景色を見ながら歩いて行く。9合目(前巻機)まで行くと避難小屋が目の前に見える。その先は木道と整備された階段状の道を登っていく。そして「巻機山」頂上に到着。ゆったりとした広場になっていてベンチで休憩する。ここから少し歩いた所に最高点があるが植生保護のため立ち入りできないので、その付近まで往復する。下山は登ってきた道をそのまま引き返す。(記：竹内)



ブナ林の中を歩く



前巻機 (ニセ巻機)



巻機山避難小屋



笹原から避難小屋



頂上直下の階段



巻機山頂上 (1933m)



頂上付近の花



最高点に続く木道



池塘



最高点付近



巻機山



登山口近くの分岐



7/31 (日) 曇り 「八海山」

【ルート】：八海山ロープウェイさんちょう→大日岳（八海山）ピストン（往路は八ッ峰、帰路は迂回路）

【行動】8：07 さんちょう駅（4合目）→9：05 女人堂（6合目）→9：55 千本槍小屋（9合目）→10：55 摩利支岳→11：10 大日岳（八海山）山頂→11：20 下山開始→12：20 千本槍小屋→13：00 女人堂（6合目）→14：00 さんちょう駅

始発（8：00）のロープウェイを降り、展望台の景色を眺めるや、前日の昼食時に店から出れない程の物凄い夕立にあったことがトラウマになったか、トップの竹さんが、猛スピードで登りだす。昼からの雷は怖い、ととてもついて行けない。マイペースを決め込むも、すぐに汗だくだ。女人堂で1本、助かった！ここからはペースも落ち着き、余裕をもって登る。予定よりも早く千本槍小屋へ到着するも、ガスが出てきている。早々に鎖場の続く核心部の八ッ峰コースへ。連続鎖場の岩峰の難コースに、ペースは否応なくダウン。緊張感を持って地蔵、不動、七曜、白河、釈迦を過ぎ、摩利支岳へ到着するや、緊張の限界とたまたまらず1本。気の回復を待って出発。剣ヶ峰を過ぎ、鎖と梯子を越えると大日岳（八海山山頂）へ。ガスに囲まれ見晴らしなし。午後の雷も怖く、入道岳は断念し、迂回コースで戻る事にした。昨日、転落事故があったという岩壁を慎重に降り、入道方面へ少し進んだ所から、迂回コースへ廻る。ここも難路だ。滑りそうな急坂をアップダウンを繰り返し、鎖場も越えて千本槍小屋へ戻るのに1h。雨を心配し小休止後、すぐに下山開始。女人堂まで急ぐも、晴れ間も見えだしー安心。（記：津田）



八海山大神に安全祈念

八海山を望む

小屋から八ッ峰コース方向

オオバギボウシ？



不動岳

岩場を降りる

馬の背もあり

大日岳への登り



大日岳山頂にて

八海山大神像

入道岳を望む

シモツケソウ

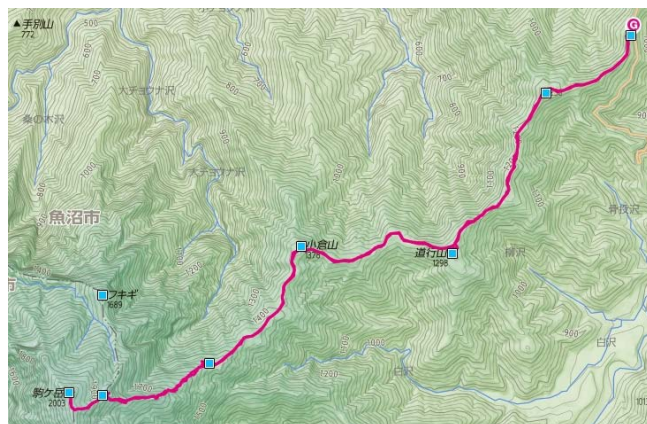


## 8/01 (月) 曇り時々晴のち雨 「魚沼駒ヶ岳」(越後駒ヶ岳)

【ルート】：枝折峠→魚沼駒ヶ岳(明神尾根コース ピストン)

【行動】5:10 枝折峠P 登山口→6:10 (1190m) →7:15 (1270m) →7:35 小倉山→8:14 百草ノ池→9:14 (1765m) →9:40~10:10 駒の小屋→10:25~10:43 駒ヶ岳頂上 (2003m) →10:56 駒ノ小屋→12:07 小倉山→13:20 (1215m) →14:20 枝折峠P 登山口

前日に枝折峠Pに駐車。翌日、早朝に登山口を出発する。枝折峠の標高が1065mあるので頂上までの標高差938mを登る。歩き初めから展望がよく緩やかな稜線上を歩く。左に雲海を見ながら灌木帯を進むと明神峠に差し掛かる。ここには「枝折大明神」が祀られていて十合目の標識がある。そして少し先の「明神峠」に出る。ここから「魚沼駒ヶ岳」が見えてくる。この先も緩やかなアップダウンを繰り返しながら進み「道行山」を過ぎて展望の良い所で1本取る。歩いている間は汗が一杯出るが、休憩すると汗も引いて気持ち良い。ここから少し歩くと「小倉山」に到着。さらに「百草ノ池」を過ぎると傾斜が増してくる。登山道は岩稜帯になりそこを抜けると「前駒」に到着。さらに進むと急な岩場になりペンキの矢印に沿って登って行く。登りきった所に「駒ノ小屋」が立っている。しばらく休憩をして水場に行き補給する。小屋にザックを置いて頂上に向かう。笹原の中を進むと15分程で「魚沼駒ヶ岳」頂上に到着。展望を楽しもうと思ったらガスが出てきて景色が見えなくなった。「残念!」。小屋に戻りザックを背負い下山を開始する。登山道を下っていくと途中で怪しい雲が、空を覆ってきた。「小倉山」、「道行山」を過ぎた頃から雷が鳴り始め、やがて雨が降り始めた。カッパを着用したが雨足は強くなり、前を歩く津田さんの速度も速くなり登山口には早く到着した。そしたら雨も小降りになり直に止んでしまった。その後「銀山平」の温泉に入り汗を流してから道の駅に向かった。(記：竹内)



枝折峠駐車場



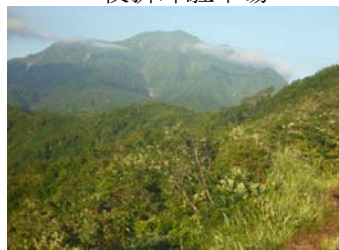
登山口からの登り始め



雲海を見る



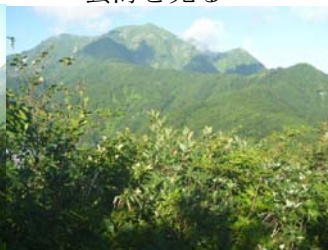
遠くの山々が見える



明神峠から「駒ヶ岳」



稜線を進む



駒ヶ岳が近くなる



ベンチで休憩



「百草の池」標識



前駒付近の花畑



「魚沼駒ヶ岳」頂上



「駒ノ小屋」



8/03 (水) 晴後曇り 「平ヶ岳」

【ルート】：中ノ枝登山口→玉子石→平ヶ岳→池ノ岳→台倉山→鷹ノ巣登山口 (プリンスコース)

【行動】5:35 中ノ枝登山口 (1270m) →6:10 大木 (1500m) →7:10 (1800m)

→7:55 玉子石→8:50 平ヶ岳山頂→9:20 下山開始→(9:45 姫池) →10:30 1本

→(10:40 白沢清水)→11:15 台倉清水→12:20 下台倉山→13:35 前坂→14:20 清四郎小屋

幸運にも、前日、清四郎小屋泊でプリンスコースでの登山へ変更 (2h30' 時間短縮)。3:30 起床、小屋を4時発で登山口へ。未舗装の林道を1h30分、ガタガタ揺られ続けて送ってもらう。軽トラを降り、準備して出発。小屋のご主人に教えてもらった通り、35分程、いきなりの急坂を登ると大木の所で視界が開け、1本。滝ヶ倉山等を眺めながら、朝飯のお握りを頬張る。更に1h程、急坂を喘いで、やや緩くなった所で1本。更に登ると、パラダイスまでもう少しの標識。平坦な木道まで登り詰めると、正にパラダイス。玉子石に到着、素晴らしい眺めに、疲労感が吹っ飛んだ。パラダイスを楽しみながら、1h程歩くと平ヶ岳の山頂へ。握手を交わして、写真を撮る。天気も良く頂上でゆっくりしたいが降りのコースが長い事も考え、早々に下山開始。姫池も通過しながら景色を楽しむ。1hを目安に休憩を取って距離を稼ぐも、台倉山が中々近づかない。鷹ノ巣からの登山者が登って来るが大変そうだ。超ロングコースの鷹ノ巣ピストンを計画していたが、プリンスコースから登りに計画変更できた幸運に感謝だ。下山路なのに高度が下がらない。長いコースだ。下台倉山を過ぎ、ヤセ尾根にさしかかると、疲労感もピークに。ようやく前坂に至りヤセ尾根を過ぎると、一気に高度を下げて登山口へ。更に小屋迄15分。小屋で汗を流させてもらって長い1日が終了した。(記：津田)



ギョージャンニク?



中ノ枝登山口付近

登山口付近の平ヶ岳沢

大木で1本

正にパラダイス!



リンドウとミヤマリンドウ

玉子石のナイス風景

平ヶ岳山頂 2人で口

最高点付近の池塘風景



ハクサンフーロ? 姫池付近の道を行く

姫池だ!

撮影する竹さん

長い長い下山路



## 8/04 (木) 晴れ「帝釈山」

【ルート】：猿倉登山口～田代山～帝釈山 (ピストン)

【行動】6：40 登山口→7：30 (1700m) →8：15 田代湿原→8：20 田代山 (1926m)

→9：40～10：10 帝釈山 (2060m) →11：20 田代山避難小屋→12：28 水場→12：45 登山口

前夜に猿倉登山口Pに到着。翌朝、登山口を出発、ツガが茂る樹林帯を進むとやがて急登になりジグザグに登る。やがて緩やかな道になりそのうちに木道歩きとなり小田代湿原に到着する。ここから少し先に進むと田代山湿原に到着した。標識に帝釈山の文字を見つける。木道は反時計回りに進むようになっておりそのまま進むと直に「田代山」山頂に到着する。このまま湿原を進み、さらに樹林帯に入ると田代山避難小屋に着く。ここから樹林の中を下っていく。そこからまた登って尾根に出ると見晴らしも良くなってくる。ピークに向かって徐々に高度を上げて行くと岩に梯子が掛けてある所もあるが乗り越えて行く。やがて道標が目に入ると広場に出る。「帝釈山」頂上に到着だ。景色を見ながら休憩する。下山は登ってきた道を引き返す。田代湿原は反時計回りに廻り「田代山」を通らずに湿原を通過して下山する。途中で水場に寄り補給してから登山口に到着する。この後、温泉に立ち寄り明日登る「会津駒ヶ岳」の登山口に向かう。

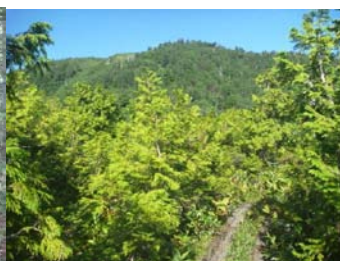
(記：竹内)



猿倉登山口



樹林帯を登る



湿原はもうすぐだ



木道歩きとなる



田代湿原



田代山への標識



田代山頂上



湿原を抜けて樹林帯へ



田代山避難小屋



尾根上からの展望



「帝釈山」頂上 (2060m)



登山口近くの水場



# 8/05 (金) 晴 「会津駒ヶ岳」

【ルート】：滝沢橋登山口→会津駒ヶ岳→中門岳→登山口（ピストン）

【行動】4：30 登山口（P）→5：25 1本（1400m?）→6：25（1700m）→7：15 小屋（1900m）→7：40 会津駒ヶ岳山頂（3133m）→8：20 中門岳→9：15 小屋→10：15 水場→11：20 登山口（P）

前日に登山口Pに車を入れ、一杯やりながら作戦会議。午後の夕立を警戒し、早く出発する事にした。4時起床、4時半に出発。急登だが、気温が低い為か、あまり汗もかかず快適だ。5時頃、樹間にお陽様が顔を出し、神々しい。1h近く歩き、汗ばんできた頃に1本。休憩中に元気な若者が一人、追抜いて行く。汗が引いた処で出発。自分達のペースで確実に高度を上げる。時間による気温の上昇と高度が上がるのが相殺し、快適登山が続く。3ピッチで会津駒の小屋へ到着。素晴らしい小屋だ。小屋の前の景色も素晴らしく（池の向こうに頂上が見える）、ベンチに腰掛けてしばし見とれる。まずは頂上を目指す。15分程で山頂。握手を交わし、記念撮影。虫が多いので、早々に藤田君から薦められた中門岳へ向かう。木道の快適な道だ。中門大池まで行って1本。気持ちのいい場所だ。素晴らしい景色を眼に収めて引き返す。会駒を巻いて小屋へ向かう木道が濡れていて注意しても滑る。2人とも数回、滑って痛い目に遭う。小屋で小休止後、下山。水場で美味しいという水を飲みに行く。まるやかで冷たく美味しい。更に快適に降って登山口へ。今宵から、車中泊でなく贅沢に七入山荘だ。お風呂へ入り、ビールで乾杯！夜も夕食を食しながら乾杯！幸せだ！（記：津田）



お陽様が顔を出す

ミズチドリと  
キンコウカ

湿原を眺めながら進む

会津駒の小屋手前に行く



ここにも  
リンドウ

駒の大池と会津駒ヶ岳

会津駒ヶ岳頂上＼(^-^)/

ニッコウキスゲと  
ここにもミヤマリンドウ



ワタスゲ

中門岳頂上か？

中門岳のナイス風景  
いい所です

中門岳の向こうは、ガスが・・・



## 8/06 (土) 晴れ「燧ヶ岳」

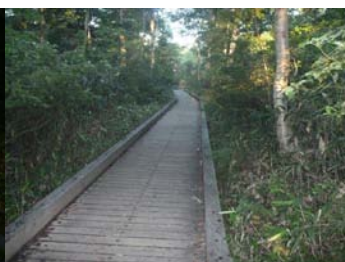
【ルート】：御池P～「燧ヶ岳」 (ピストン)

【行動】5：23 御池登山口→6：10 広沢田代→7：00 熊沢田代→7：50 8合目→8：23 俎嵩→8：50～9：30 「燧ヶ岳」山頂 2356m→10：36 熊沢田代→11：20 広沢田代→12：02 御池登山口

早朝、御池登山口を出発、整備された木道を進む。分岐を過ぎてから樹林の中をさらに進むと次第に急な登りとなりゴロゴロとした岩の上を歩くようになる。急登を登りきると広々とした湿原帯に出る。広沢田代である。ここからは見晴らしも良く、景色を楽しみながら歩いて行ける。樹林の中を木道歩きで緩やかな登りから下りに入り再び湿原に入ると「熊沢田代」だ。前方に「燧ヶ岳」が見えてくる。ここから樹林帯の中に入り、ひたすら登っていくとガレ場が出てくる。さらに進むと大きな岩が出現、登りきると「俎嵩」だ。目の前に「燧ヶ岳」頂上が見える。ここから20分程で「燧ヶ岳」頂上(2356m)に到着。快晴の中で絶景を楽しむ。尾瀬ヶ原の向こうに「至仏山」も見える。頂上付近は賑やかだ。ゆっくりと休憩してから下山する。登りと同じ登山道を下り御池登山口に戻った。(記：竹内)



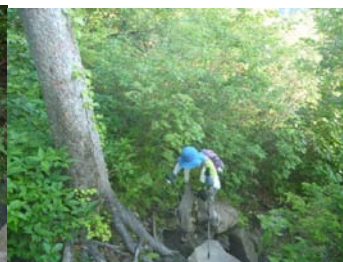
御池登山



整備された木道



ゴロゴロ岩を歩く



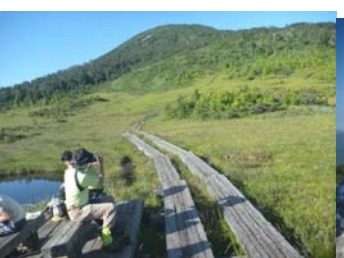
急登を登る



燧岳が見えてくる



熊沢田代 (湿原)



熊沢田代で休憩



「燧岳」頂上に到着



頂上付近の岩場



尾瀬沼



至仏山



「燧岳」後に下山する